



かけはし

相武台中学校だより NO.1 令和8年4月22日



学校教育目標
みずから
ともに
ゆたかに



春、春、爛漫

校長 井上 武仁

4月4日、5日の桜まつりでは桜の花も散り始めていましたが、校内の桜の木は、進級・入学を祝うために寒暖差の激しいこの時期を乗り越え、たくさんの美しい花を散らさずに生徒たちを迎えてくれました。春、爛漫です。

4月7日の始業式と入学式は雨の予報にもかかわらず、空の雲たちが雨を降らさずに生徒たちを見守ってくれました。始業式に参加した在校生も、緊張感につつまれながら入学式に参加した新入生も新しい生活への希望に満ち溢れた表情をしていたように思いました。また、副校長をはじめ新しい職員も赴任してきました。先生たちと共にこれからまた一年間「相武台中生としての自覚」を持って頑張ってくれることと思います。

入学式ではナポレオンの言葉の「人は制服どおりの人間になる」という話から「相武台中の制服を着た相武台中生としての自覚」について話をしました。私が二年間相武台中で勤務している間に、生徒が地域で人助けをしたことに対する感謝の電話を4件いただきました。そのうちの1件は対応が遅れたら重篤になる出来事でした。また修学旅行では見学地に到着してバスを降りるときにほとんどの生徒が運転手さんにお礼を言いました。私が「運転手さんにお金を払っているのに何でお礼を言うの？」と聞くと、「ここまで無事に連れてきてくれたからですかね？」というあいまいな理由でありながら、自然とお礼が言えることに感動しました。このように相武台中生は困っている人を助ける・手を差し伸べるという優しい心を持った生徒が多いこと、人に感謝することができる生徒が多いことを述べ、相武台中の制服を着ることによってそのような人になってほしいということ話をしました。そして制服を着て同じ格好をしても、勉強が得意な人、運動が得意な人、様々な趣味や特技を持っている人、それぞれ個性があるのだからその個性を發揮してほしいということも述べました。

また、義務教育の仕上げの時期になるという話をしました。義務教育を終えるということはこの日本で社会に出て最低限の生活ができるようになることなので、この3年間の中学校生活で学習はもとより、道徳心や人間関係など、いろいろな経験と勉強をして卒業してほしいという話をしました。

これからの3年間の生活に希望を膨らませて入学してきた新入生、先輩になって後輩に立派な背中を見せなければならない2年生、いよいよ進路に向けて本格的に始動する3年生、それぞれが厳しい冬を乗り越えて迎えた春です。来年の春もさわやかに、春、春、爛漫で迎えられることを願って令和8年度がスタートしました。

今年度も保護者の皆様をはじめ、地域の方々からの相武台中学校の教育に対するご理解とご協力をお願いしたいと思います。





新入生のみなさんへ ～入学おめでとう～ 1学年主任 中川 由佳

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

風が強く、学校の桜の花びらが舞う入学式、その日、昇降口の前は、笑顔あふれる風景でした。入学式では、真剣なまなざしと元気な返事が印象的で、素晴らしいものでした。

皆さんは、本校の新たな一員として大きな一歩を踏み出しました。新しい仲間や先生との出会い、これまでにない学びや経験が、皆さんを大きく成長させてくれることでしょう。これから始まる学校生活には、楽しみがたくさんあります。授業で新しい知識に触れる喜び、部活動や行事で仲間と力を合わせる充実感、何気ない日常の中で生まれる笑顔や発見。その一つひとつが、かけがえのない思い出となっていきます。時には不安や戸惑いを感じることもあるかもしれませんが、そのすべてが皆さんの成長の糧となります。どうか前向きな気持ちを忘れず、自分の可能性を信じて歩んでください。

相手の気持ちに寄り添い、考え、行動できる、いい学年にしていきたいと思います。

皆さんのこれからの活躍と成長を、心から楽しみにしています。

新入生代表の言葉

新入生代表 小川 結翔

暖かくやわらかな春の風がこちよく感じられるこの良き日に、私たち81名は相武台中学校に入学しました。

今日は、私たち新入生の為にこのような立派な入学式を行っていただき、ありがとうございます。また、今日まで、私たちを支えてくれた両親、保護者の皆様にも感謝しています。

これから始まる中学校生活では、新しい出会いや小学校にはなかった学校行事などがあり、楽しい経験ができるかと期待する一方で、難しくなっていく勉強や部活動などで悩み、不安を感じることも多いと思います。そのような新たな中学校生活に慣れず、立ち止まってしまうこともあるかもしれませんが、そういう時には、先生方、先輩方から、時には厳しく、時には優しく助言をいただきながら、仲間と共に支え合い、どんな困難も乗り越え、一歩ずつ前へ進んで行きたいと思えます。

中学校での3年間は、あっという間に過ぎてしまうと思います。実りある中学校生活にするため、何気なく毎日を過ごすのではなく、夢中になれることや将来を見据えた目標を見つけ、自分から積極的に行動していきたいと思えます。

そして、この相武台中学校には、これまで多くの先生方や先輩方が築き上げてこられた歴史や伝統があります。私たちは、その思いを受け継ぎ大切にしながら、仲間と共に一つ一つの活動に一生懸命に取り組み、相武台中学校に新たな歴史が築けるよう努力していきたいです。

最後になりますが、先生方、そして先輩方には、ご迷惑をおかけすることもあると思えますが温かいご指導をよろしくお願いいたします。

